

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	くらしと社会				
担当者氏名	中村 清一				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

本講義は小学校の社会科の学習内容を基にしながら行う。小学校社会科の履修内容と重なる分野を取り上げ、各々の分野からくらしと関係の深い事象を取り扱う。それぞれの事例研究を行うとともに受講者各自の事例発表等も取り入れる。

《テキスト》

文部科学省検定済み教科書 小学社会 全学年上・下

《参考図書》

適宜配布する

《授業の到達目標》

この授業のねらいは、社会を子どもの認識の対象として捉えさせるだけでなく、子どもが生きる場として主体的に把握させることである。日常の暮らしの中での社会事象を取り上げて、その成り立ちや相互の社会関係などを把握し理解を図ること、社会を構成する一員としてよりよい社会のためにそれぞれが果たす役割を考えさせるとともに、社会科の教材開発力につなげる。

《授業時間外学習》

さまざまな課題を求めるので、自宅でも作成すること。

《成績評価の方法》

受講態度(10%)、レポート(20%)、テスト(70%)で総合的に評価する。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	くらしと住居・道具(1)	縄文時代と弥生時代の住居 縄文時代と弥生時代の住居を比較して、時代による変化やその特徴を考察する。
2	くらしと住居・道具(2)	平安時代の貴族の住居と鎌倉時代、室町時代の武士の住居 貴族の住居と武士の住居の機能の違い、時代背景による文化の違いを把握する。
3	くらしと住居・道具(3)	江戸時代の住居と明治・大正時代の住居 庶民の住居にも焦点をあてるとともに、生活道具にも注目する。
4	くらしと住居・道具(4)	昭和以降の住居とさまざまな道具に関する資料をもとに、住居の変化の様子とともに、その道具が使われた時代や使われ方の変化を考察する。
5	子どものくらしと遊び(1)	子どもの遊びの歴史を調べる。
6	子どものくらしと遊び(2)	昔から伝えられている伝承遊びにはどんなものがあるかを確認し、遊び方を体験して将来の指導に備える。
7	受け継がれる年中行事	さまざまな季節の行事について調べ、その意味を考える。また、自分の住む地域ではどのような伝統行事が行われているかをも併せて考える。
8	私たちの住む市の紹介(1)	参考にしたい他の市の特徴をインターネットで調べる。 自分が住む市の特徴をインターネットで調べ、紹介ポスター作製の準備をする。
9	私たちの住む市の紹介(2)	紹介内容を決定し、地図、写真、その説明等の原案を準備する。
10	私たちの住む市の紹介(3)	各自が制作したポスターを掲示し、自分の住む市のよいところや特徴を発表する。
11	日本の地形と気候	日本の地形の特徴と特色、各地域の気候の違いとそれに応じた生活をテーマに教材化する。
12	自然条件と人々のくらし	各自が暖かい地方、寒い地方、高地、低地の4地域のいずれかを取り上げ、衣食住にわたる人々のくらし方についてレポート作成のための資料収集を行う。
13	自然条件と人々のくらし(2)	前時に収集した資料に基づき、自宅で作成したレポートをもとに、5分の模擬授業の形式で発表する。
14	人々のくらしと町人文化	江戸時代に新しい文化を町人がになった背景を考え、その文化が現代にまで魅力となっていることを具体的資料を利用して学ぶ。
15	まとめ	「公民的資質」を養う教材開発について